

教職課程におけるICTを活用した遠隔授業

—令和3年度「教育原理」実践報告—

烏田直哉*

はじめに

本稿は、筆者が令和3年度に行った遠隔授業の実践記録である。令和3年度春学期開講の「教育原理」を中心に、教授内容および、授業評価アンケートの実施結果を示す。

大学におけるICT活用教育については、新型コロナウイルス感染症拡大前から議論されてきた¹⁾。同感染症拡大後の先行研究において、大学における遠隔授業の実践が報告されている。試みに、国立情報学研究所のCiNii Researchを用いて、タイトルに「大学」「ICT」の両方を含む「論文」を検索した所、平成12年以降、1000件余りの論文等がヒットした。ここでは、同感染症拡大後に限って、大学におけるICT活用教育について検討する。

令和2年以降の論文等をみると、おおよそ、①大学の講義等での実践事例、②教職課程における学生のICT活用指導力、③小中学校・高等学校と大学との連携、④大学等における遠隔授業体制構築に関するもの、⑤遠隔授業に対する大学教員の意識、について論じたものなどに分類されよう。

中園長新「コロナ禍に対応した大学対面授業におけるICT活用の方針検討と実践」²⁾では、新型コロナウイルス感染症拡大の収束後の大学教育の在り方も視野に入れつつ、令和3年度前期の実践を元に、コロナ禍の下で対面授業を実施する際の課題に対して、ICT活用がどのような有効性をもつのかを検討している。その課題として、①一定数の学生がオンラインで授業に参加していること、②グループ活動の積極的な実施が難しいこと、③物理的な接触機会を減少させる必要性、の3点を挙げている。それらを解決するために、ICTを活用した実践事例を紹介している。例えば、ウェブブラウザ上のホワイトボードアプリを活用したグループワーク、多くの大学で導入されているLMS (Learning Management System) を活かした課題提出と学修者同士での共有などである。これらの活用により、対面授業の抱える制約を解決できるとしながらも、学生の「私物デバイス」(BYOD: Bring Your Own Device) に依存せざるを得ず、それぞれのコンピュータ環境が異なることを課題として指摘している。最後に、今後、「学修に対するパラダイムの転換」³⁾とともにICTを活用した学びの保障に言及している。

片柳雄大・佐野(熊谷)史「教員養成課程における大学生のICT教育に対する意識」⁴⁾では、教員養成課程の学生が履修した「ICT教育の授業設計I」について、その授業内容や受講後の学生の意識等を明らかにしている。例えば、学校現場におけるICT関連の語句(「GIGAスクール」「STEAM教育」「プログラミング教育」「デジタル教科書」「学びの個別最適化)についてどの程度理解しているかというアンケートを行っている。「教育に関するニュースに関心が薄い」⁵⁾という面がある一方で、ICTを活用した教育の必要性については認識しているという結果を示している。

令和2年以降、大学における遠隔授業体制の構築について述べた研究がみられはじめた。廣田千明ら「大学教育におけるICT環境の整備と活用」⁶⁾では、令和2年度における、秋田県立大学の研究推進事業「大学教育におけるICT機器の積極的利用に関する研究」の成果をまとめている。この中で、「学内のICT環境整備」「貸し出し用パソコンの整備」「ワイヤレスプレゼンテーションシステムの整備」など、遠隔授

* 東海学園大学教育学部

業への移行に必要な体制整備について述べている。また、「ICTを活用した授業の実践例」として、教育方法論とシミュレーション工学の2科目の事例を示している。

ごく一部の先行研究を示したに過ぎないが、ICTを活用した教育について、各学校段階における実践事例、その課題が示されてきた。大学における遠隔授業については、多くの教員が経験したものと思われる。本稿はその一事例として報告する。

1. 令和3年度春学期「教育原理」の授業形態

本授業は、令和2年度以降、本学の活動指針や教育学部の授業実施形態に合わせて、面接授業、遠隔授業を併用して実施した。令和3年度の、本授業の実施形態は【図表1】の通りである。

教育学部教育学科1年生春学期開講の講義科目である「教育原理」(2単位)のカリキュラム上の位置づけについて述べる。教育学部における本授業は、幼稚園、小学校、中学校・高等学校(英語、保健)、養護教諭の各教員免許および、保育士資格の取得に必修の科目となっている。また、ディプロマ・ポリシーで主に関連する項目は「1、『知識・理解』-2」(「教育者・保育者の基盤となる教育や保育並びに健康に関する理論を理解している」)である。

開講日と時限、履修者数は、火曜日4限が85名(「教育原理a」)、水曜日3限が86名(「教育原理β」)であった。

本授業のねらいは、「教育の基本的理念や理念とは何か、西洋や日本の教育の歴史や教育をめぐる思想において、それらがどのように現れてきたのか」について学ぶことである。また、「これまでの教育や学校、社会や家庭における教育の営み(内容・方法・制度)が国の内外においてどのように捉えられ、歴史の変遷をたどってきたのか、さらにはその現状・改革について理解する」ことを目的としている。到達目標としては、教職課程コアカリキュラムの在り方に関する検討会「教職課程コアカリキュラム」⁷⁾に準拠して以下の通りとした。

(1) 教育の基本的概念 到達目標

- 1) 教育の意義、目的・目標、教育の本質や理念などの基本的概念を理解することができる。
- 2) 教育を成り立たせる要素(子供、教員、家庭、学校など)とそれらの相互関係を理解することができる。

(2) 教育に関する歴史 到達目標

- 1) 育児や地域社会による子育てなどの私教育の歴史を理解することができる。
- 2) 近代公教育の成立・展開を理解している。
- 3) 現代社会や学校の抱える教育課題を歴史的視点を踏まえて理解することができる。

(3) 教育に関する思想 到達目標

- 1) 家庭や子育てに関わる教育の思想を理解することができる。

【図表1】 各回の授業実施形態

回	実施日時		授業形態
	a	β	
第1回	4月6日(火)4限	4月7日(水)3限	面接
第2回	4月13日(火)4限	4月14日(水)3限	面接
第3回	4月20日(火)4限	4月21日(水)3限	面接
第4回	4月27日(火)4限	4月28日(水)3限	面接
第5回	5月11日(火)4限	5月12日(水)3限	面接
第6回	5月18日(火)4限	5月19日(水)3限	遠隔
第7回	5月25日(火)4限	5月26日(水)3限	遠隔
第8回	6月1日(火)4限	6月2日(水)3限	遠隔
第9回	6月8日(火)4限	6月9日(水)3限	遠隔
第10回	6月15日(火)4限	6月16日(水)3限	遠隔
第11回	6月22日(火)4限	6月23日(水)3限	遠隔
第12回	6月29日(火)4限	6月30日(水)3限	面接
第13回	7月6日(火)4限	7月7日(水)3限	面接
第14回	7月13日(火)4限	7月14日(水)3限	面接
第15回	7月20日(火)4限	7月21日(水)3限	面接

- 2) 学校や学習に関わる教育の思想（教育内容と方法）を理解することができる。
- 3) 著名な教育家の思想を理解することができる。

なお、使用したテキストは、古賀一博・中坪史典・加藤望編著『コンパス教育原理』（建帛社、2021年）である。

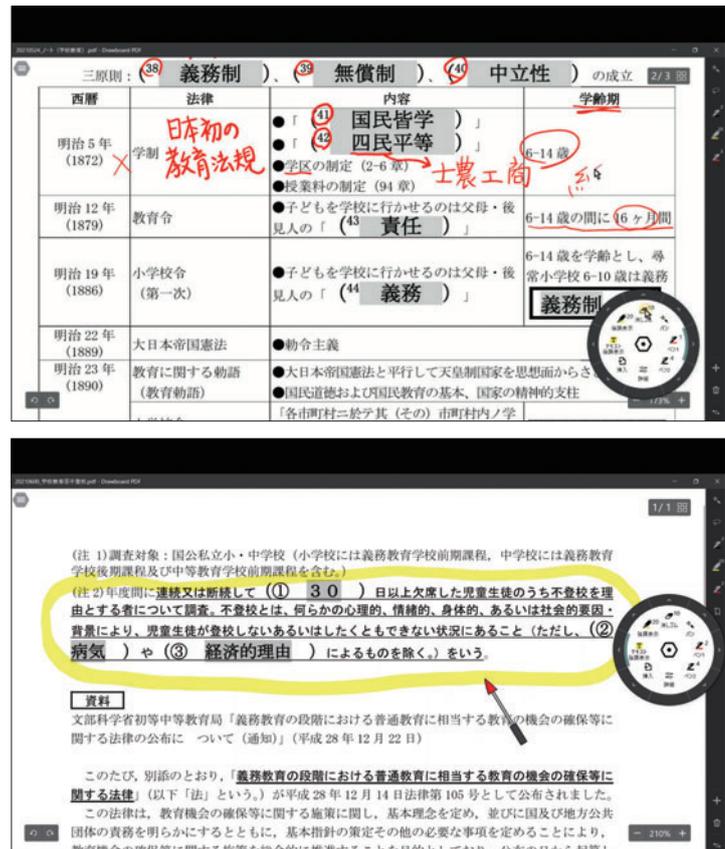
2. 遠隔授業時の工夫

ここでは、遠隔授業を行った第6回から第11回の授業実践について述べる。授業実施形態に変更がある際は、その前の週から「UNIVERSAL PASSPORT」等を通じて学生に周知された。本授業では第6回から第11回の授業を遠隔で実施した。遠隔授業へ変更する前の週の面接授業において、その後使用する、印刷した講義資料をあらかじめ配付した（【図表2】参照）⁸⁾。紙の配付資料が手元にあることで、ページをめくり、重要な点についてマーキングし、空欄に書き込むなどの身体的な作業を通して、記憶にとどめること、深い理解に結びつくことをねらった。本学では、令和2年度よりMicrosoft Teamsが導入されており、本授業の遠隔授業においてもそれを利用した。

本授業の遠隔授業は、「大学における多様なメディアを高度に利用した授業について」で言う「同時双方向型（テレビ会議方式等）」⁹⁾、すなわち平成13年文部科学省告示第51号第1号（最終改正平成19年7月31日文部科学省告示第114号）の「同時かつ双方向に行われるものであって、かつ、授業を行う教室等以外の教室、研究室又はこれらに準ずる場所（大学設置基準第31条第1項の規定により単位を授与する場合においては、企業の会議室等の職場又は住居に近い場所を含む。以下次号において「教室等以外の場所」という。）において履修させるもの」に該当するものと考える。面接授業と同じ曜日・授業時間帯に実施するという形態をとり「同時性又は即応性を持つ双方向性（対話性）を有し、面接授業に相当する教育効果」¹⁰⁾をねらった。

毎回の授業において、通信状況を確認するために点呼をとり、受講者の応答を確認した。また、出席者のデータ（学籍番号、氏名、「会議」参加時刻、「会議」退出時刻）がcsv形式でダウンロードできたので、そのデータでも確認を行った。

授業者のPC画面を共有し、あらかじめ印刷物で受講者に配付した講義資料のPDFファイルを投影しながら授業を行った。配付資料の重要語句については空欄として、講義を視聴しながら記入できるようにした。なお、授業者が画面上のプリントに文字を書き入れる際は、【図表3】のようなペンタブレットを使



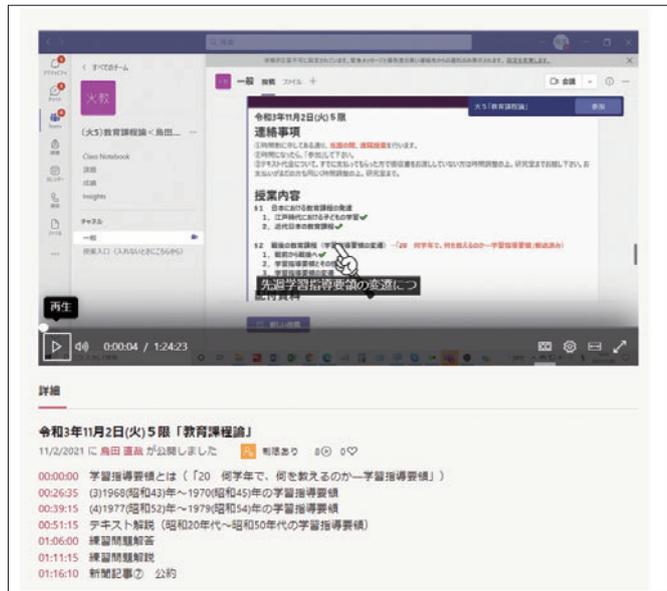
【図表2】講義資料の画像

用した¹¹⁾。また、授業中には、別の端末から本授業のチームに参加し、映像や音声を受講者にどのように届いているのかを確認しながら授業を行った。

遠隔授業終了後、画面の録画・音声の録音を行って動画を作成して¹²⁾、Microsoft Streamに投稿し、受講者のみが視聴できるようにした。その際、動画にタイムコードを付して、視聴の便をはかった（【図表4】参照）。また、正確に変換されないことも多いが、「トランスクリプト」機能を用いて、授業者の発話内容を文字化した（【図表5】参照）。

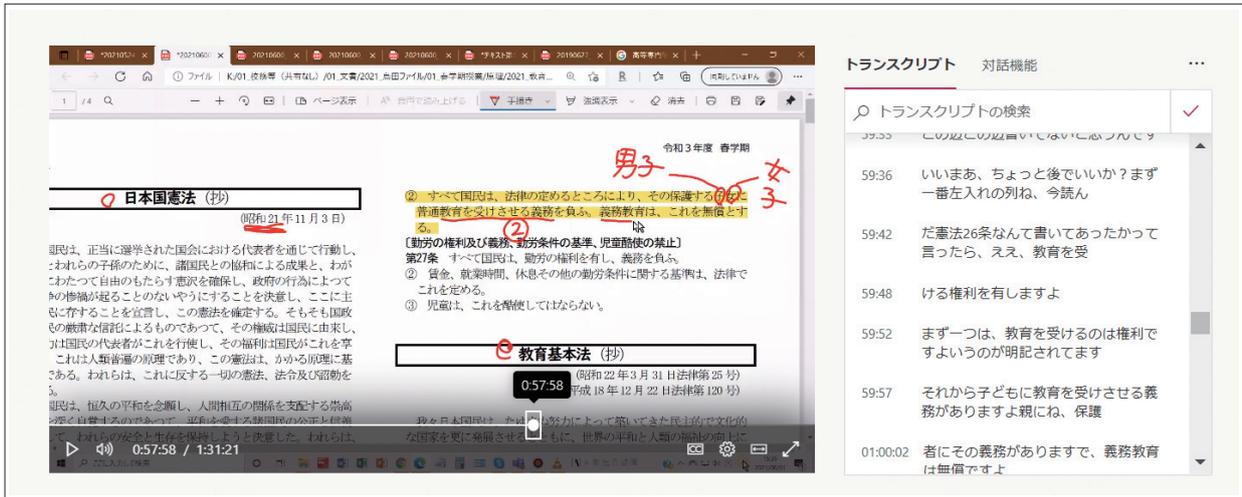


【図表3】 XP-Pen社「Deco01 V2」



【図表4】 授業内容のタイムコード

※画像は令和3年度秋学期「教育課程論」のもの

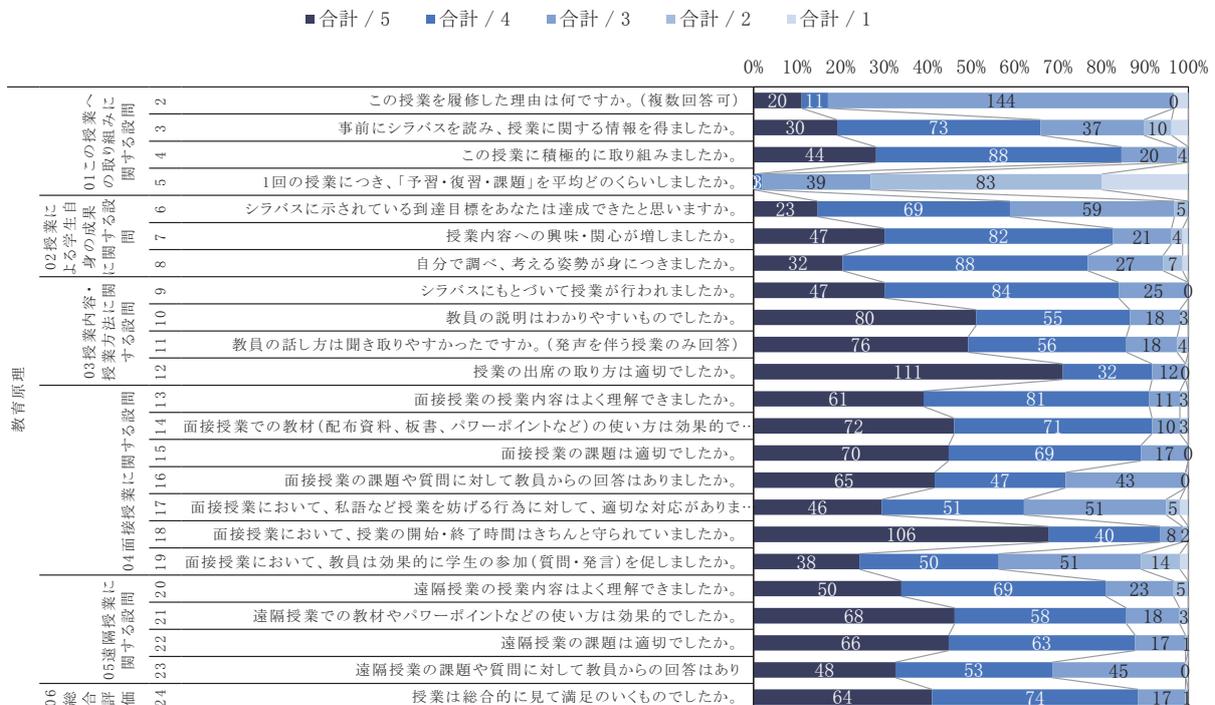


【図表5】 授業者の発話内容

3. 授業評価アンケートの結果

令和3年7月8日から同21日を実施期間として、「授業評価アンケート」が実施された。回答期限は7月25日であり、実施科目は演習（ゼミ）や履修者10名以下の授業を除いた春学期開講科目であった。実施方法は、「UNIVERSAL PASSPORTを使ったWebアンケート」であった。先に示した【図表1】の通り、本授業では、5月から6月に遠隔授業を実施し、授業評価アンケート実施期間においては面接授業を実施していた。授業開始時にアンケートに回答するように学生に指示をした。アンケートの結果は【図表6】【図表7】の通りである。【図表6】は、各設問の回答から、「強くそう思う」を5、「ややそう思う」を4、「どちらともいえない」を3、「あまりそう思わない」を2、「全くそう思わない」を1として集計し、回答者数と構成比を示したものである¹³⁾。また、【図表7】は、その平均値をクラス別に示したものである。【図表6】【図表7】には示していないが、平均値が最も高かったのは、「授業内容・授業方法に関する設問」で4.36であった。一方、「この授業への取り組みに関する設問」は3.28と最低であった。その他、「授業による学生自身の成果に関する設問」は3.89、「面接授業に関する設問」、「遠隔授業に関する設問」がともに4.18であった。個別の設問をみると、平均値の高かった5つは「授業の出席の取り方は適切でしたか」、「面接授業において、授業の開始・終了時間はきちんと守られていましたか」、「面接授業での教材（配布資料、板書、パワーポイントなど）の使い方は効果的でしたか」、「教員の説明はわかりやすいものでしたか」、「面接授業の課題は適切でしたか」であった。また、低かった5つは、「事前にシラバスを読み、授業に関する情報を得ましたか」、「シラバスに示されている到達目標をあなたは達成できたと思いますか」、「面接授業において、教員は効果的に学生の参加（質問・発言）を促しましたか」、「この授業を履修した理由は何ですか」、「1回の授業につき、『予習・復習・課題』を平均どのくらいしましたか」であった。

【図表6】 アンケート結果



【図表7】各設問の平均値

設問分類	設問No.	設問内容	α (火4)	β (水3)	全体
この授業への取り組みに関する設問	2	この授業を履修した理由は何ですか。(複数回答可)	3.16	3.27	3.22
	3	事前にシラバスを読み、授業に関する情報を得ましたか。	3.52	3.90	3.71
	4	この授業に積極的に取り組みましたか。	4.06	4.14	4.10
	5	1回の授業につき、「予習・復習・課題」を平均どのくらいしましたか。	1.96	2.22	2.09
授業による学生自身の成果に関する設問	6	シラバスに示されている到達目標をあなたは達成できたと思いますか。	3.64	3.77	3.70
	7	授業内容への興味・関心が増えましたか。	4.03	4.13	4.08
	8	自分で調べ、考える姿勢が身につきましたか。	3.88	3.92	3.90
授業内容・授業方法に関する設問	9	シラバスにもとづいて授業が行われましたか。	4.00	4.28	4.14
	10	教員の説明はわかりやすいものでしたか。	4.27	4.44	4.36
	11	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。(発声を伴う授業のみ回答)	4.25	4.40	4.32
	12	授業の出席の取り方は適切でしたか。	4.56	4.67	4.61
面接授業に関する設問	13	面接授業の授業内容はよく理解できましたか。	4.26	4.30	4.28
	14	面接授業での教材(配布資料、板書、パワーポイントなど)の使い方は効果的でしたか。	4.31	4.41	4.36
	15	面接授業の課題は適切でしたか。	4.29	4.39	4.34
	16	面接授業の課題や質問に対して教員からの回答はありましたか。	4.06	4.18	4.12
	17	面接授業において、私語など授業を妨げる行為に対して、適切な対応がありましたか。	3.68	4.01	3.84
	18	面接授業において、授業の開始・終了時間はきちんと守られていましたか。	4.55	4.66	4.60
	19	面接授業において、教員は効果的に学生の参加(質問・発言)を促しましたか。	3.66	3.70	3.68
遠隔授業に関する設問	20	遠隔授業の授業内容はよく理解できましたか。	4.05	4.18	4.12
	21	遠隔授業での教材やパワーポイントなどの使い方は効果的でしたか。	4.26	4.34	4.30
	22	遠隔授業の課題は適切でしたか。	4.27	4.36	4.32
	23	遠隔授業の課題や質問に対して教員からの回答はありましたか。	4.04	3.96	4.00
総合評価	24	授業は総合的に見て満足のいくものでしたか。	4.18	4.39	4.29

おわりに

面接授業、遠隔授業が混在しており、それぞれの利点や問題点があった。遠隔授業ならではの利点として、各自の端末が目の前にあるので教室の環境に左右されないことがメリットの一つとしてあげられる¹⁴⁾。「もう少し映像を見やすくしてほしい」「前の画面が見えにくい時がありました」「面接授業の際に後ろについている画面では文字が小さかったです」「後ろの席なのでモニターが見にくい」(本文末、設問26参照)などの支障は解消される。また、動画を残すことで、講義内容の反芻が容易である。

一方で、遠隔授業では学生とのコミュニケーションが困難である。「同時性又は即応性を持つ双方向性」は確保したつもりであるが、本授業に限って言えば、学生の「もう少し学生の気をひきつける必要があったと思います。だからもう少し参加型の授業」をしてもよいのではないかと(本文末、設問27参照)との指摘通り、授業者が受講者の発話を促すような工夫が必要であった。授業者からの促しがないと受講者も発話しにくいと思われる。また、ほぼ全ての学生がカメラをオフにしており、表情が分からない。同じ空間で、同じ講義を受講することで生まれる「雰囲気」が醸成されない。「人間社会には何も見ず、話を聞いたのでもなく、又先生から教授されたのでもなくして、被教育者即ち生徒が育成されてきている」¹⁵⁾ という形成の「作用」は、大学のみならず学校生活において「最も重要な性格」¹⁶⁾であることを確認できた。

註

- 1) 木原俊行「学校におけるデジタルメディア利用の変遷」『放送メディア研究』No.12、2015年、57-78頁 https://www.nhk.or.jp/bunken/book/media/pdf/2015_13.pdf：令和4年2月6日閲覧。なお、文部科学省によると、「ICT」とは「Information and Communication Technologyの略。情報コミュニケーション技術、情報通信技術と訳される。IT (Information Technology：情報技術)と同義。教育場面においては、電子教材を活用した授業の実践やコンピュータによる情報管理などが考えられる」と定義づけている(中央教育審議会「用語解説」、平成18年2月13日、https://www.mext.go.jp/b_menu/)

- shingi/chukyo/chukyo0/toushin/attach/1346334.htm：令和4年11月29日閲覧)。以下、引用・参照した著作等の発行年については、原則、奥付表記のままとする。
- 2) 中園長新「コロナ禍に対応した大学対面授業におけるICT活用の方針検討と実践」『麗澤大学紀要』第105巻、2022年、18-26頁。
 - 3) 前掲2)、25頁。
 - 4) 片柳雄大・佐野（熊谷）史「教員養成課程における大学生のICT教育に対する意識—共同教育学部『ICT教育の授業設計I』初年度を実施してみて—」『群馬大学共同教育学部紀要 芸術・技術・体育・生活科学編』第57巻、2022年、79-87頁。
 - 5) 前掲4)、82頁。
 - 6) 廣田千明・境英一・小宮山崇夫・橋浦康一郎・菅野秀人・嶋崎真仁・櫻井健二・小峰正史・高橋守・伊藤大輔「大学教育におけるICT環境の整備と活用—ICTを用いた効果的な教授法の確立を目指して—」秋田県立大学ウェブジャーナル編集委員会編『秋田県立大学ウェブジャーナルA（地域貢献と研究成果）』第9号、2021年、120-132頁。
 - 7) 教職課程コアカリキュラムの在り方に関する検討会「教職課程コアカリキュラム」、11頁、平成29年11月17日、https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/__icsFiles/afieldfile/2017/11/27/1398442_1_3.pdf：令和4年2月5日閲覧。
 - 8) PDFファイルの表示、書き込みには「DrawboardPDF」（<https://www.drawboard.com/pdf>：令和5年1月13日閲覧）を、ポインタは「プレゼンマウス」（<https://www.saberlion.com/tukaeru/soft/presenm.html>：令和5年1月13日閲覧）を使用した。
 - 9) 中央教育審議会大学分科会制度・教育改革ワーキンググループ（第18回）「資料6 大学における多様なメディアを高度に利用した授業について」、平成30年9月7日、https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/043/siryu/__icsFiles/afieldfile/2018/09/10/1409011_6.pdf：令和4年2月5日閲覧。
 - 10) 文部科学省高等教育局「大学等における遠隔授業の取扱いについて（周知）」、令和3年4月2日、https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/mext_00027.html：令和4年2月5日閲覧。
 - 11) 使用したペンタブレットは、XP-Pen社「Deco01 V2」である（<https://www.storexppen.com/buy/deco-01v2.html>：令和4年2月5日閲覧）。
 - 12) 録画にはOBS Studio 27.1.3 (64bit)（<https://obsproject.com/>：令和5年1月13日閲覧）、BANDICAM 5.1.0.1822（<https://www.bandicam.jp/>：令和5年1月13日閲覧）、VideoProc Converter4.6（<https://jp.videoproc.com/>：令和5年1月13日閲覧）などを利用した。
 - 13) 設問2「この授業を履修した理由は何ですか。（複数回答可）」については、「授業内容に興味があった」を5、「教員に魅力があった」を4、「必修科目または資格関連科目」を3、「単位が取りやすいから」を2、「時間割の都合」を1とした。設問5「1回の授業につき、『予習・復習・課題』を平均どのくらいしましたか。」については、「2時間以上」を5、「1時間半」を4、「1時間」を3、「30分以下」を2、「全くしていない」を1とした。
 - 14) 堀和世『オンライン授業で大学が変わる ～コロナ禍で生まれた「教育」インフレーション～』大空出版、2021年、47頁参照。
 - 15) 海後宗臣『教育編成論』国立書院、昭和23年、58頁。
 - 16) 前掲15)、64頁。

【参考資料】自由記述の内容

設問25「この授業で良いと思うことを記述してください。」

カッコ内に言葉を書くことによって大事な所が明確化し、理解しやすくなったと思う。／とても分かりやすい授業でした。ワードの使い方なども見やすくてわかりやすかったです。／ノート用のプリントを作ってくださいるので、書きやすかったです。／はじめて習うものが多いのでおもしろかったです。／プリント、PPともにわかりやすかった。／プリントが具体的でわかりやすい／プリントで参考資料などをすぐに見ることが出来たので良かったです。／プリントを配ってくれたのでノートが取りやすかったです。／プリントを配ってくれるため大事なところが分かりやすい／プリントを配ってくれるので資料があつてよかったです。／プリントを用意してくれるところ。／プリント授業が嬉しい／遠隔に移行する際にプリントを事前に配ってくださったのでスムーズに講義が受けられたこと。／遠隔の授業の時にプリントで分かりやすく授業をしてくださったのがよかったです。どこが重要な部分かをしっかりと教えてくれたのもよかったですと思います。／遠隔授業でも面接と変わらない形式で授業を受けることが出来ました。また、内容がまとめられるプリントを配布してもらえるのが有り難かったです。／教育などに関する法律などわかりやすかったです。／教育のことについて学ぶことができました。／教育の歴史についてわかりやすく学べること／教育の歴史について学べる点。／教育学部ならではの歴史的なことなどをしれる／教員になるための知識をつけれるし、ニュースなどの映像を利用してるから理解しやすかったです。／近年の学校に関してのビデオを観て、自分でそれについて考える時間がためになったと思います。／穴埋めなどやりやすい／今起こっている課題や問題などにも触れ、授業に取り入れている点／採用試験で必ず必要となる科目なためどこが出ていたなど先生がおっしゃっていたのでいいと思いました。また、わかりやすい授業だったので集中して講義が受けられました。／資料をみながら、穴埋め形式で進めていくためポイントを掴みやすく、板書してもらえするため、とても分かりやすかったです。／事前にコピーする必要がないのは助かりました(遠隔の時も)。／授業がとてもわかりやすく、進むスピードもちょうどよかった。／将来教員になるにあたって有益な情報が多い／説明がわかりやすく聞き取りやすかった／先生が面白い先生で原理の授業は他の科目よりも好きでした。チャットでの連絡や質問にもすぐ答えてくださるのがとても助かりました。出席のとり方も名前を呼んでいく形式で、良いと思いました。／先生の声がとても聞き取りやすい／イラストが分かりやすく理解しやすい／先生の声が素敵で気づいたら寝ることがなく集中して聞くことができました。／先生の説明がわかりやすいです／先生の説明が丁寧でとても分かりやすく授業後の質問にも迅速に対応して下さってとてもいい授業を受けることが出来たと思う。／先生の話し方がとてもわかりやすかった。過去問や練習問題を通して、学びを深めることができた。／先生の話し方がわかりやすいところ。／知識が増えて良かった／動画がたまに見れるので、理解しやすくて良かったです。／板書(遠隔のコンピュータ上でも)はわかりやすく見やすかったです。映像と授業をリンクさせて見せてくださったので自分なりの考えも生むことができたのでよかったです。／分かりやすいです／分かりやすい授業なところ／分かりやすかったです／遠隔では録画しながら授業していただいたこと／話の内容が面白い。／こう覚えましょうと重要そうなところは教えてくれた／しっかりと学べる場所／ノートの代わりとなるプリントを作成して配布してくださったこと。／プリントがあつて、とてもわかりやすか^(マ)授業ができてよかったです。／プリントがあつて助かりました。／プリントがあることによって復習がすぐにできてとても良かったです。／プリントがあるところ／プリントなどの資料を使って授業が進むので、わかりやすいです。／プリントの穴埋めなので、復習がしやすいです。／プリントをノートがわり使用したのは、先生が口頭で言ったことを書き込めたのでより理解が深まったと思います。／マーカーを引くところを口頭だけでなくモニターにうつしてくれるから探す手間が省けて話を聞き逃すことが少ないことがよかったです。／やってる所を映し出してくれるから理解しやすかった。／わかりやすい／遠隔になる際にプリントを用意して頂い

たことで授業が受けやすかった。／プリントがあることで、全てをノートに書かなければならない時間を使わなくて済み、他の先生が言ったことをメモする余裕があり、よかったと思う。／学校教育と家庭教育の関係などを学ぶことができる。／教育について深く学ぶことができるところ／教育に関しての歴史をやっているところ／教育の歴史について学ぶことができ、一般教養でも出題される問題を実際に解くことができたことが良かった。／教育の歴史や現在の教育現場の状況などを学び、教育に対して以前より興味を持てたことが良かった。／教科書が買えなかったときに再度買うように促して下さったこと。／学びの原点の振り返り／教科書に載っていることだけでなく最近の教育のニュースなどを知ることができ、今の教育現場の問題に触れることができるのいいなと思います。／教科書や資料などを適切に使い、理解を促進させていてとてもいいとおもった。／教職概論とは違う、教育の根本？など深いところを知れてとても面白かったです／空欄に穴埋めするやり方なので大事な語句がわかりやすかった／空欄のプリントで学習することで自分で話を聞き空欄を埋めるから、話を^(ママ)したが^(ママ)り聞くことができ書くことで少しでも覚えることができる。／穴埋めプリントを渡してくれるところ／穴埋め式の問題があることによって覚えやすいと思った。／黒板に分かりやすく書いていただいている／細かい説明までしてくれてとても受けやすかったです。プリントが十分に用意されていたのも良かったです。／資料があるところ。／板書の字が見やすいところ。／声が聞き取りやすいところ。／説明を詳しくしてくれるところ。／資料などを使ってより理解をすることができたこと／授業を口頭だけでなくパワーポイントを使って大事なところは赤で書いてあったり、また指示棒みたいなので説明してあったりして非常にわかりやすかったです。また自分の実力がわかる課題も出してくれたのでとても良かったです。／重要なところを板書して下さったり、プリントを進めてくださるので見返した時にわかりやすかったです。／初めて学ぶ内容ばかりですごく難しかったけど教員の道が少し見えた気がしてすごく嬉しかった。保育者の元を作った方々の歴史が学べたし、現代の教育内容についても深く学べたと思う。プリントがあっても授業に参加しやすかった。自分で記述する課題が出て少しずつ力をつけた気がする。楽しかったです。／色んな資料を用意してくれたこと／穴埋め式でわかりやすかったこと／生徒のベースに合わせて授業をしてくれました。／説明が丁寧でわかりやすかったです。／説明がわかりやすかった／先生がスクリーンを使って一緒にプリントに書いていくので、どこをやっているかがわかりやすかった／先生の字が綺麗で読みやすい。プリントが準備されていたのでリモート期間も困らなかった。／先生の授業がわかりやすいです。／先生の説明がとても丁寧で、興味を持って毎回授業に参加することが出来ました。／動画を見ることで社会で起きている実態などが理解しやすかった。／復習問題をやる場所。／わかりやすい説明だったことです。／わかりやすくまとめられたプリントが配られたのと、遠隔でもパワーポイントで重要なところを丁寧に説明してもらえたので、良かったです。／補足の説明がわかりやすかった／補足の説明がわかりやすかった。／法律にふれながら学ぶことができる。／履修した授業の中で一番すきな授業だった！／興味がある内容もとても面白かった／歴史的背景を元に教育原理が学べる最高傑作な授業／練習問題を取り入れてくれること。／わかりやすいプリントを用意して下さっていて、習ったことをまとめやすかったところ。／

設問26「面接授業で改善して欲しいと思うことがあれば記述して下さい。」

プリントの量が多いと思います。／もう少し映像を見やすくしてほしい／書き取りばかりで眠くなるが多かった／席を自由にして欲しい。／前の画面が見えにくい時がありました。／早口で進むことぐらい。／コロナで仕方ないですが、指定席がなくなってほしいです。／プリントが多く行ったり来たりしてたのでプリントを少なくしてほしい／もう少しわかりやすい説明をして欲しい。／もう少し当ててほしいです。／画面に出されるプリントの文字が見ずらいことが何度がありました。特に面接授業の際に後ろについている画面では文字が小さかったです。／後ろの席なのでモニターが見にくい／次のスライドに進むのが早いところ。／進むスピードが早い時があった。／特にないですが、プリントの文字が敷き詰まっていて読

みにくいと感じた。／無の時間がたまにあるので、なくして欲しい

設問27「遠隔授業で改善して欲しいと思うことがあれば記述して下さい。」

電波が悪い時が何回かあったため、そこを直してほしい／ページの切り替えの時に次のページを探している時に進んでしまったことがあったので改善してほしいと思った。／もう少し学生の気をひきつける必要があったと思います。だからもう少し参加型の授業ししてもいいと思いました。／遠隔での出席についてチームズでの会議で入ったら出席と言うふうに1人1人声を聞かなくても良いような気がしました／遠隔授業はとても受けやすかったです。／次のスライドに進むのが早いところ。／授業に使う資料がどれなのかわかりづらかった。／出席確認の方法をもう少し考えて欲しい。／進むスピードが早い時があってなんのプリントを見ればいいのか分からない時があった。